



高額寄付者 称号授与式を開催

学校法人二松学舎は、二松学舎教育研究振興資金(以下、振興資金)の高額寄付者およびそれと同等のご寄付をされた方に称号を贈っている。

10月7日、2025年度称号授与式を九段1号館で開催し、「二松学舎特別栄誉賛助員」として寄付金累計1,000万円以上の7名に、「二松学舎賛助員」として寄付金累計100万円以上の3名にそれぞれ称号を贈った。

特別栄誉賛助員として称号授与式に出席した鈴木久子氏は本学卒業生の親族で、ご主人の了三氏(故人)は二松学舎専門学校の第13回卒業生。また、義兄の右二氏(故人)も二松学舎専門学校第4回卒業生、義父の範作氏(故人)は漢学塾二松学舎に在籍していた経緯がある。「主人をはじめ、鈴木家は『心』

を大事にしておりました。その『心』は代々二松学舎で育まれてきたものだと思います。そんな大学に寄付という形で恩返しし、次世代の教育や研究に役立ててほしいと思います」と語った。

そのほか、二松学舎専門学校第17回卒業生で作詞家・水木かおるとして活躍された奥村聖二氏(故人)と令夫人・睦子氏(故人)、二松学舎大学第31回卒業生で、岐阜県で長年、高校生の育成に尽力された中野晨作氏(故人)に「二松学舎特別栄誉賛助員」の称号を贈った。



左から高柳幸雄氏、七五三和男氏、鈴木久子氏、水戸英則理事長、飛田正太郎氏

二松学舎特別栄誉賛助員

奥村 聖二様(故人)・奥村 睦子様(故人)
鈴木 範作様(故人)・鈴木 右二様(故人)・
鈴木 了三様(故人)・鈴木 久子様
中野 晨作様(故人)

二松学舎賛助員(敬称略)

理事／附属柏中学・高等学校長 七五三和男
理事／松苓会幹事長 高柳 幸雄
評議員／教学事務部長 飛田正太郎

いただきました寄付金は、今後、大学をはじめとする各設置校の教育環境の整備および教育・研究の充実、学生・生徒の奨学金の原資として使用させていただきます。

未来へつなぐ ―創立150周年事業がスタート―

学校法人二松学舎は、2027年10月10日に創立150周年を迎える。その歴史は、明治10年に漢学者・三島中洲が創立した「漢学塾二松学舎」から始まり、以来、「己ヲ修メ人ヲ治メ一世ニ有用ナル人物ヲ養成ス」を建学の理念に、数々の人材を社会に輩出してきた。

その歴史を振り返り、未来へとつなぐため、各種周年記念事業を計画している。その第一歩として、今年度「150周年記念事業準備委員会」が発足。今後は、新たな長期ビジョンの検討やロゴ・キャッチコピーの制作、特設ページの開設、記念式典やシンポジウムの開催など、周年を彩るさまざまな事業を検討して



校名の由来となった二本の松

いく予定である。

また、事業の一環として「二松学舎150年史編纂委員会」も組織された。本委員会では、全学的な協力体制のもと、顧問や名誉教授の方々と相談役・アドバイザーに迎え、着実に年史編纂事業を進めている。

この創立150周年を契機として、二松学舎が描く未来にご期待いただきたい。

2026年4月 大学院文学研究科に歴史文化学専攻を開設予定

二松学舎大学は、2026年4月に大学院文学研究科に歴史文化学専攻(修士課程)の開設を予定している(設置構想中)。これは、2022年4月開設の文学部歴史文化学科が本年度末に初の卒業生を輩出することなどに対応したものである。

本専攻は歴史文化学の知見を習得した学生に、さらに高度な教育・研究の場を提供し、より深い専門的学識と汎用的な能力を有する人材の育成を目指すと共に、生涯学習など

社会に開かれた教養の場を提供することを目的としている。

また、本専攻では、歴史教育や文化行政の分野で活躍できる人材の輩出を視野に入れており、各カリキュラムの受講を通じて、教育機関のみならず、文化財保護に関わる各種機関や博物館・文書館などの文化機関においても有用な知識とスキルを身に付けることができる。本専攻の入学試験要項等は今後本学ホームページなどで随時公開予定。

二松学舎名誉舎友 称号授与

学校法人二松学舎舎友の称号は、法人役員として1期以上在職した者、法人評議員として2期以上在職した者、教職員として20年以上勤務した者、大学・高等学校の役職者として通算5年以上在職し、10年以上勤務した者などに贈られる。そのうち、法人役員経験者、および法人に対し特別な功労があった者に名誉舎友の称号を贈る。5月28日付で以下の者に名誉舎友の称号を授与した。(敬称略)

大槻 奈那

永年勤続表彰

10月10日付で以下4名を永年勤続者として表彰した。(敬称略・50音順)

30年表彰

大学教員 森野 崇
大学職員 勇 健一

15年表彰

附属高等学校教員 落合友美子
楯岡 卓

「二松学舎教育研究振興資金」(寄付)のお願い

学校法人二松学舎では、「二松学舎教育研究振興資金」の寄付金募集を行っております。寄付金は使途を指定することができ、さらに、税制上の優遇措置が受けられます。(確定申告のお手続きが必要です)

お申し込み方法の詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。ホームページからクレジットカード・ネットバンキングなどで直接申し込みが可能です。スマートフォンでも簡単にアクセスできます。または、専用振込用紙でのお振り込みも可能です。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

何とぞ、募金活動の趣旨をご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、遺贈によるご寄付も受け付けております。詳細は下記までお問い合わせください。

スマートフォン
でのご寄付は
こちらから▶



お知らせ

学校法人二松学舎への多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご寄付賜りました個人および企業・団体・法人のご芳名を、学校法人二松学舎のホームページ「寄付者芳名録」に掲載しておりますのでご確認ください。なお、お名前の掲載を辞退されたい場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

企画・財務課

☎ 03-3261-1298 (月～金 9:00～16:30)
✉ k-zaimu@nishogakusha-u.ac.jp

2025年度

二松学舎大学地区別父母懇談会を開催

—東京会場、水戸会場、高崎会場—

8月2日、二松学舎大学は、2025年度二松学舎大学地区別父母懇談会(東京会場)を、九段1号館中洲記念講堂で開催し、在学生の保証人約100名が参加した。

当日は、武石智実父母会長、佐藤晋学長の挨拶からスタート。五月女肇志文学部長、高岸直樹国際政治経済学部長がそれぞれ学部・学科での学びや新入生の春学期の様子、ゼミナールについてなど学年別に説明した。その後、父母会副会長を務める須藤和敬学務局長が大学の年間行事予定や、2024年度卒業生の進路状況などを報告した。また、教務課から、今年度から導入した新ポータルシステムについて、キャリアセンターおよび教職課程センターからは進路や教職のサポート体制について説明が行われた。

会終了後、今年は教職員・在学生の保証人との交流の場が設けられ、日頃接点の少ない教員と保証人のコミュニケーションの場となった。参加した保証人からは「学生の置かれた現状や、指導にあたる先生方の生の声が聞ける貴重な機会だった」「想像以上に手厚く対応してもらっており、安心した」といった声が聞かれた。

地区別父母懇談会は、1995年の父母会発足時から続く父母会主要行事のひとつで、今年度は東京会場のほか、6月28日に水戸会場(茨城県)、7月5日に高崎会場(群馬県)で実施した。



武石智実父母会長の挨拶(東京会場)



水戸会場(茨城県)の様子



高崎会場(群馬県)の様子

2025年度 二松学舎大学
入試関連イベントを開催！

5/24

両附属高等学校
生徒・保護者対象大学説明会

会場：九段1号館中洲記念講堂

両附属高等学校の生徒および保護者を対象とした、大学説明会を開催。生徒約100名・保護者約50名が参加しました。両学部長による学部・学科説明のほか、キャンパス見学、学食体験などを行いました。



大学の学食を体験

6/12

高等学校進路指導部
教員対象大学説明会会場：九段1号館中洲記念講堂
(オンライン併用)

全国の進路指導担当教員および本学卒業生教員を招き、本学の教育内容や入試制度の説明を行いました。



教育内容や入試制度を説明

対面・オンライン併用で行い約90名の教員に参加いただきました。本学教職員および参加された先生方同士の名刺交換・情報交換会も行い、本学の教育についての理解を深めていただけた貴重な1日となりました。

7/20 8/3 8/24

オープンキャンパス

会場：九段キャンパス1号館

夏のオープンキャンパスを開催しました。暑い中、多くの高校生・保護者の皆さんに来場いただきました！本学教員による模擬授業や大学・入試の説明のほか、クラブ・サークル活動紹介や在学生による個別相談コーナーなど学生と触れ合う企画も！大学の魅力やリアルな大学生活をお伝えしました。



<学生と話そう！コーナー>

<教員による個別相談>

次回は11/3(月・祝)
学園祭と同日開催だニャ！入試の
変更点
2026年度

年内合格を目指すなら！

文学部・総合型Ⅲ期が
他大学併願可能に！

- ・併願可
- ・出願期間：11/17(月)～12/8(月)
- ・試験日：12/14(日)

現代文が得意な人におすすめ！

文学部・一般選抜G方式に
3科目型が追加！

- ・併願可
- ・出願期間：1/6(火)～1/21(水)
- ・試験日：2/3(火)

共通テストの成績を利用して合否を判定！

文学部・一般選抜C方式
(大学入学共通テスト利用)
前期2科目型が追加！

- ・併願可
- ・出願期間：1/6(火)～1/16(金)

入試の詳細は
受験生サイトを
ご確認ください！

入試課

☎ 03-3261-7423
(月～金 9:00～16:30)

NISHOインフォメーション

高大連携講座「二松学舎“学び”のコース」

附属高校は、6月25日、2年生の希望者を対象とした高大連携講座「二松学舎“学び”のコース」を実施した。

今回は、国際政治経済学部で英語特別プログラムを担当し、ベルギー大使館などでの通訳経験を持つ西川雅子特別任用教授による「多言語国家ベルギーと英語の使用状況」の授業が行われた。

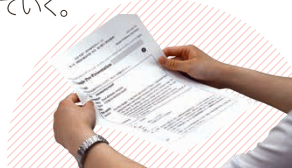


英語の大切さを学ぶ

西川教授は講義の中で、ベルギーには3つの公用語があるものの、多くの人々にとっては英語が共通のコミュニケーション手段となっていることを、ビジネスやパーティーでの使用事例を交えて説明した。

生徒たちは、他国での具体的な英語の使用状況や日本との違いを知ると共に、英語を学ぶことの大切さを改めて学んだ。

大学での学びを実際に体験してもらうことを目的としてスタートした「二松学舎“学び”のコース」。大学併設の附属校ならではの強みを生かし、今後も高大連携の取り組みを推進していく。



附属柏中学校 折紙探究講座

附属柏中学校は、8月21日に、探究講座の一環として、附属柏中学・高等学校の卒業生で折紙作家の勝川東氏を講師にお招きし、中学1年生106名を対象とした「折紙で探究学習～沼の教室に向けて～」を実施した。

本講座で生徒たちは、沼の生態系にとって重要な役割を果たす鳥類について学んだあと、鳥に関連した折紙作品を制作。代々伝わる折紙作品「小鳥」で折紙の基礎を身に付け、沼の教室で訪れる手賀沼に生息する鳥「オオバン」をテーマに、生



完成した「鳥ビシャ」



折紙作家で卒業生の勝川東氏(写真左)

徒一人ひとりのアレンジを加えた作品を作り、表現の幅を広げた。

講座の締めくくりには、自由な発想で自分だけの鳥を考え、それを折紙で折るという難易度の高い課題にも挑戦。最後は、自分たちが制作した折紙の鳥を、紙に描いた大きな木に貼り付け、柏市の伝統行事である「鳥ビシャ※」をイメージしたアート作品に仕上げた。完成した作品は、9月13・14日の松陵祭で披露された。

※五穀豊穡や無病息災を祈願する行事

附属柏中高 学びを支える体制を強化

附属柏中学・高等学校は、学校運営を支える新たな組織として「グローバル探究室」を今年度設置した。海外研修をはじめとするグローバル教育のさらなる充実を目指すと共に、探究活動における環境整備や指導方法などを一元的に管理し、学習プログラムの質の向上を図る。また、授業時間の再編にあわせ、「自由探究」という授業も開講。高校1・2年生の希望者を対象に、取り組みたい研究や調査に対する専門性の高いアドバイスや指導、成果発表のサポートなどを行う。

今回の組織・体制整備により、同校が教育活動の特色としているグローバル教育と探究活動をより強力に推進し、生徒の主體的な学びを支える基盤がまた一つ確立された。



ゴミ問題について考えた探究活動

ボランティア活動で地域に貢献



九段下駅構内でのボランティア活動

二松学舎大学の学生10名は、6月6日、東京メトロ・都営地下鉄九段下駅の構内で行われた、麹町警察署による「痴漢被害防止に関する啓蒙活動ボランティア」に参加した。学生たちは、警察関係者と共に、痴漢撲滅について呼びかけるメッセージが入ったポケットティッシュを配布し、駅利用者に痴漢撲滅の啓蒙活動を行った。

この活動以外にも本学では、麹町警察署と協力し、千代田区内の犯罪防止、非行防止などの啓蒙活動やボランティア活動を行っている。本学のこうした一連の活動が評価され、7月7日、麹町警察署・麹町防犯協会から防犯功労者として表彰され、感謝状が授与された。

女子トイレに「トレルナ」を設置

二松学舎大学では、九段1号館・3号館・4号館の女子トイレの一部に、スマートフォンでの簡単な操作で、生理用ナプキンが無償で提供されるシステム「トレルナ」を導入し、5月19日からサービスを開始した。

これは、本学に在籍するすべての女子学生の衛生面の向上およびサービス向上の一環としてはもちろん、女子学生が生理にまつわる不安や不便を感じることなく大学生活を送ることができるよう、本学父母会の助成により設置された。

利用には、スマートフォン上で専用アプリのダウンロードが必要。



ここから登録



トレルナ取り出し口

2025
年度『論語』の学校
-RONGO ACADEMIA-のお知らせ

- 日時：12月6日(土) 14:00開演予定
- 会場：九段1号館中洲記念講堂
- 講演：1

天地自然の理法に順う“理念経営”
～ツムラアカデミーによる組織・人的資本形成

株式会社ツムラ 代表取締役社長CEO 加藤 照和氏

2

素読を通して『論語』を味わう

公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館理事長
安岡定子事務所代表 安岡 定子氏

右記二次元コードからお申し込みください。

※申し込みは12月5日(金)正午まで。定員になり次第締め切り。
詳しくは本学ホームページの「NEWS」イベントをご確認ください。



お問い合わせ | 企画・財務課 ☎ 03-3261-1298 (月～金 9:00～16:30)

大学資料展示室「企画展」のお知らせ

企画展名：『論語』展
会 期：2025年11月24日(月)～2026年1月30日(金)
会 場：大学資料展示室(九段1号館地下3階)

開室日時は本学ホームページ大学資料展示室「企画展カレンダー」をご確認ください(年末年始の閉室にご注意ください)。



創立者・三島中洲が長年にわたって使い続けた書入れが残る『論語集註』や中洲の著書『論語私録』『論語講義』の他、第三代舎長を務めた渋沢栄一の『論語講義』を展示。また、『論語集解』『論語義疏』や『論語古義』『論語微』といった論語の注釈書や孔子の生涯におけるさまざまな場面を描いた聖蹟図なども展示予定。

お問い合わせ | 附属図書館 ☎ 03-3263-6364 (月～土 9:00～16:30)

設置校NEWS

このコーナーでは、大学、附属高等学校、附属柏中学校・高等学校でのさまざまな行事や学生・生徒の皆さんの様子をピックアップしてお届けします！

大学

春学期

学部・学科の特色ある新入生歓迎行事を開催



中国武術鑑賞会(国際日本・中国学科)

二松学舎大学は、本年度に入学した新入生向けに、両学部で新入生歓迎行事を行った。

文学部国文学科は4月20日に、狂言鑑賞会を開催し、日本の伝統芸能に触れ、日本文化への関心を高めてもらう機会を、国際日本・中国学科は6月21日に、漢詩・漢文だけではなく中国文化を味わってもらうべく中国武術鑑賞会を実施した。また、都市文化デザイン学科は6月28日に、多文化的バックグラウンドを持つアーティスト、ジュニオール・ヘスス氏を迎え、都市文化を代表するラップの実演を通して「ことば」と「まち」をめぐる自己表現の可

能性について考える機会を提供。歴史文化学科は4月30日に重要文化財・旧岩崎邸庭園の見学を行い、歴史的建造物の魅力とその保存に目を向ける良い機会となった。

また、国際政治経済学部は5月10日、国際政治経済学科と国際経営学科合同で行い、スタジオ地図代表取締役プロデューサーの齋藤優一郎氏による講演会を実施。映画製作におけるプロデューサーの役割、日本のアニメーションを海外に進出させるために必要なマーケティング・ブランディング活動、資金調達やビジネスモデルの構築など、経済・経営学の観点からも実りある講演会となった。



齋藤優一郎氏講演会(国際政治経済学部)

附属柏高校

7月22～25日

国際交流プログラムで日本の魅力を再発見



浅草でのフィールドワーク

附属柏高等学校は、7月22～25日、留学生との交流を通して英語を学び、さまざまな視点から日本の文化や魅力について考える国際交流プログラムを実施。3年生の希望者42名が参加した。

初日は、事前学習とし、翌日から始まる留学生との交流に向け、班ごとに浅草でのフィールドワークの行程を検討した。

2日目からは留学生を迎え、本格的な交流活動が始まった。生徒たちは、留学生の母国文化への理解を踏まえた上で、食事など宗教上の理由から、散策時

に配慮すべきことを再確認し、翌日の行程を決定した。

3日目は、留学生と共に、浅草でのフィールドワークを実施。生徒たちは、日本の魅力、文化・習慣、日本らしさ、浅草の街の工夫など、さまざまな視点で浅草の街を観察した。生徒たちは、留学生の視点を通して、日本の価値や特色を見つめ直す貴重な機会となった。最終日は、フィールドワークで得た気づきや学びについて、留学生と共に英語でディスカッションを行った。生徒たちは意見を交わす中で、多様な視点を受け入れ、自らの考えを整理する力を身に付けた。

本プログラムを通して生徒たちは、異文化理解の重要性を実感し、国際的な視野を広げることができた。



留学生とディスカッション

附属高校

6月17日

高1・2年生校外学習を実施

附属高等学校は、6月17日に、1・2年生の校外学習を行った。

1年生は鎌倉を訪問。鎌倉大仏殿、高徳院や鶴岡八幡宮などを巡り、鎌倉の歴史に触れながら宝探しゲームを行った。これは、宝の地図に描かれた暗号を解き、エリア内に隠された宝を見つけ出しポイントを競い合うゲームで、生徒たちは班ごとに分かれ、さまざまなミッションに挑戦した。多くの宝物を見つけ出し、ポイントを獲得するためにはグループ内の協力が必須。友人たちと協力し、目的を達成する喜びを味わった。

2年生は、修学旅行の前に班別行動に慣れ、協調性や寛容な態度を身に付けることを目的にマザー牧場を訪問。昼食のバーベキューでは火起こしから



鎌倉校外学習(高1)

調理、片付けまで生徒自身が行い、班で協力しながら食事を楽しんだ。生徒からは「すべてを自分たちで行うため大変でしたが、班のみんなと協力して作った焼き肉や焼きそばはいつも以上にお



バーベキューの様子(高2)

いしく、友人たちとの会話もはずみました」と感想があがった。その後は、ミッションゲームを行い、仲間との結束を深めた。

この校外学習で生徒たちは、普段とは違った環境でリフレッシュし、クラスの仲間との交流をより深めることのできる機会となった。

附属柏中学校

6月26日

中学校全クラス対抗球技大会を実施

附属柏中学校は、6月26日に、中学校全クラス対抗球技大会としてバレーボール大会を実施した。

各クラス、8～12名の男女混合チームを編成。計27チームと教員選抜チームも加わった全28チームが対戦した。

試合は7チームずつのトーナメント形式で、1試合7分間の時間制とした。今回の球技大会では、性別・学年問わず協力し合える競技形式とするため、ボールをつなぐ際はワンバウンドまでOKといった特別ルールを設けた。また、敗退チーム同士による交流戦が設けられるなど、生徒全員が試合に関われるよう工夫した。

森寿直先生率いる教員選抜チームも生徒たちと白熱した試合を繰り広げ、生徒からは「先生方の意外な一面を垣間見ることができとても楽しかった」といった感想があがった。

優勝は、クラスの団結力と戦略が光った3年A組のチーム「ウエストランドソウシ」。優勝チームの生徒は「優勝できてとてもうれしいです。試合終了の瞬間は、心の中でガッ



先生と一緒に

ツポーズをしました！チームメートの活躍があってこそこの優勝で、忘れられない経験となりました」と感想を述べた。

この球技大会では、スポーツを通して、勝敗に関わらず声をかけ合い、応援し合う姿が見られ、学年を越えた交流と、新たな関係構築のきっかけとなる有意義な時間となった。



生徒全員が参加できる工夫をした大会

大学

フィリピン・夏期短期海外語学研修

期間
8/24～9/6

参加人数
文学部4年次生1名、
国際政治経済学部2・3年次生各1名

研修先
エンデラン
大学



授業は少人数のグループ授業と、個々の学習スタイルにあわせた個人授業があるため、バランスよく英語を学ぶことができました。アクティビティで訪れたトンド地区への訪問はとても印象に残っており、旅行

では味わえないフィリピンの現状を知ることができました。また、学生寮での共同生活でしたが、同室の学生とも仲良くなり、楽しく過ごせました。大学周辺は比較的 안전한地域で、授業後は、寮の目の前にある商業施設に行き、生活の中で英語を使うことを心掛けました。



みうら もえか
三浦 萌夏さん（国文学科4年次生）



附属高校

ニュージーランド・スタディーツアー

期間
7/26～8/3

参加人数
1・2年生14名

研修先
リンフィールドカレッジ

平日は、オークランドにある公立高校リンフィールドカレッジで、さまざまなルーツを持つ現地の高校生と共に授業を受けました。最初は緊張しましたが、フレンドリーな人が多く、たくさん話しかけてもらいすぐに打ち解けることができました。英語の授業にとまどうこともありましたが、一緒に行った仲間と協力し、乗り切ることができました。授業後は

ホームステイ先の兄弟とバスケットボールを楽しむなどとても楽しい9日間でした。



すがわら りひと
菅原 璃人さん（附属高校1年生）



世界に飛び出そう！ 海外語学研修

夏休み期間中、各設置校で希望者対象の海外語学研修が行われました。外国語の力を伸ばすきっかけになったことはもちろん、勇気を出して一歩踏み出したことで得た学びや気づきがあったはずです。その一部を紹介します。

附属柏高校

イギリス短期留学

期間
7/17～8/1

参加人数
1～3年生12名

研修先
ラグビースクール



英語への苦手意識があり、それを克服したいという思いがあり参加を決めました。研修中は、他国の生徒との交流を通して、たくさんの友達ができました。また、彼らとの関わりを通して、以前よりも、自分の気持ちをストレートに伝えることができるようになった気がします。帰国後も英語の勉強に取り組んでいます。次回、他国の友達に会ったとき、少しでも成長した自分を見せることができるよう引き続き英語の勉強をがんばります。



くにし らい
國司 頼さん（附属柏高校2年生）



附属柏中学校・高校

カナダ研修

期間
7/6～20

参加人数
中学3年生31名、
高校1・2年生6名

研修先
プリティッシュ
コロンビア大学



最初は英語で会話することに怖さを感じていましたが、研修が進むにつれ自信がつき、間違いを恐れず英語で会話している自分に気がつきました。私は将来、キャビンアテンダントになりたいという夢があります。そのためには、多様な価値観や文化に触れ、どんな方でも円滑に会話できる英語力が必要だと感じており、今回の研修はその第一歩になりました。これからも英語の勉強を続け、たくさんの国、文化について学んでいきたいと思っています。



やなぎばし まや
柳橋 茉弥さん（附属柏中学校3年生）

附属高校

開催日：6月23日
場所：京王アリーナ
TOKYO
学年優勝：1年A組
2年D組
3年F組

クラス対抗リレー



今年のスローガンは「全身全霊」～団結こそが勝利への道！～。各クラス、お揃いのTシャツで一致団結。生徒一人ひとりが全力で競技に取り組み、熱い一日となりました。



▲スポーツで
クラスが一致団結

▲綱引き

体育祭特集

1学期のメインイベント、体育祭が行われました。競技を通してクラスの団結がより深まりました！

附属柏高校

開催日：5月22日、23日
場所：柏キャンパス内
グラウンド

総合優勝：青組

今年から新競技として加わったクラス対抗綱引きでは、学年ごとに白熱した戦いが繰り広げられました。玉入れなど定番競技はもちろん、借り人競争などユニークな競技もあり大いに盛り上がりました。



▲台風の日



▲長縄で優勝

附属柏中学校

開催日：5月23日
場所：柏キャンパス内グラウンド
優勝：白組

クラス対抗大縄は、クラス全員で何回連続で跳べるかを競う競技でクラスの団結力が問われます。みんなで声を掛け、励まし合うことでクラスの絆が深まりました。勝ち負け以上に大切なものをみんなで築けた一日でした。



▲念入りに
準備体操



▲クラス対抗
大縄



5人6脚

2025年9月7日

幽霊の歴史文化学 ―幽霊大国タイからの報告―

主催 二松学舎大学文学部歴史文化学科／Department of Cultural Promotion Thailand
協力 Mahidol University／Zignature Marketing and Technology／IAA

9月7日、本学九段1号館中洲記念講堂において、シンポジウム「幽霊の歴史文化学―幽霊大国タイからの報告―」が開催された。本シンポジウムは、タイ国支援事業「UNLEASHING THE ART OF THAI GHOSTS」の一環として、本学文学部歴史文化学科とタイ文化省文化振興局 (Department of Cultural Promotion Thailand) との共催で実施。

佐藤晋学長による開会の辞からはじまり、第一部では、マヒドン大学 (タイ) のアピラック・カセーンポンクン教授、東北大学の佐藤弘夫名誉教授、本学文学部歴史文化学科の小山聡子教授の講演と、本学文学部歴史文化学科3年次生の近藤里玖さんと吉田彩さんの報告が行われた。

小山教授の講演と学生2名の報告では、シンポジウムに先立って行われたタイでの実地調査で得られた、「ピー」と呼ばれる精霊や信仰についての研究結果を披露。

第二部の討議では、第一部の講演者3名に、



討議の様子

三重大大学の山田雄司教授と本学文学部歴史文化学科の林英一准教授を交えて、「アジアに憑依する幽霊たち」をテーマに、日本とタイ、またアジアの幽霊を通して見える世相などについて活発な議論が繰り広げられた。

近年、日本の文化研究では、東アジア全体の中で日本を研究していくこと、さらにはアジアの中に日本を位置付けて検討していくことが重要視されており、今回のシンポジウムでは、タイと日本の友好関係の構築や、研究活動の充実につながった。

クローズアップ 大学

大学独自の 奨学金を紹介！

今回のクローズアップでは、皆さんの学生生活をサポートする大学独自の奨学金について、その一部を紹介します。奨学金を担当する学生支援課の三島周二課長と志水聡さんに伺いました。

Q. 奨学金にはどんなものがありますか？

A. 代表的なものとしては、**大学4年間を通して成績が優秀だった学生に贈られる中洲賞や優等賞※1の褒章として支給される奨学金です。**中洲賞は各学部から1名ずつ、計2名を、優等賞については、学科ごとに定められた人数を選出します。なお、中洲賞の受賞者には4年次の授業料相当額を、優等賞の受賞者にはその半額相当額を給付 (返還) します。また、本学の関連企業である**二松学舎サービス株式会社奨学金は、1～3年次生の成績優秀者が対象で、各学科・各学年2名ずつが選ばれます。こちらを対象者には当該年度の授業料の半額相当額を給付 (返還) します。**どちらも対象者には、GPA※2が決定する2月中旬に大学から通知します。

※1 優等賞の奨学金は2025年度から開始

※2 個々の学生が履修した全科目の成績の平均値で単年度および通算の2通り算出し、奨学金の選考や学生指導などに利用される

Q. 資格取得でもらえる奨学金はありますか？

A. **父母会が運営する二松学舎大学父母会成長支援型 (資格・能力取得育英) 奨学金があります。**本学の学生で、公立学校教員採用試験および公務員試験の合格者が申請することで受給できます。このほか、父母会が指定する国家資格 (税理士、行政書士など) や公的資格 (秘書技能検定1

級、日商簿記検定1級・2級など)、語学検定 (実用英語技能検定1級・準1級、TOEIC®L&R Tests870以上・600以上など) など幅広い資格が対象となっていますので、ご自身の資格が対象になっているか確認してみてください。例年、申請は11月頃受け付けます。詳細は、NishoUNIPAや父母会ホームページでご確認ください。

Q. 留学を支援する奨学金はありますか？

A. 本学の海外協定校へ1年間留学をする場合、派遣留学生全員に毎月3～4万円が支給される派遣留学生奨学金があります。なお、あまり知られていませんが、IELTS™など語学力テストの受験料の助成もありますので、関心がある方は、国際交流センターに問い合わせてください。

Q. その他、何かあれば教えてください。

A. 奨学金とは少し異なりますが、**課外活動で著しい成果を上げた学生や団体を褒賞する学生褒賞という制度があります。**こちらの案内についても随時、NishoUNIPAなどでお知らせしますので、見逃さないようにしてください。

お問い合わせ

学生支援課 (九段1号館3階)
受付時間: 9:00～16:30 (授業期間中は18:30)

学生支援課



私の一冊

#52



一夢庵風流記

隆 慶一郎 (著)
新潮文庫、1991年

教学事務部長
中原 敬二

SNSが発達し、いろんな情報を取得したり発信したりできる世の中になり、人々はどんどん不寛容になってきていると思います。ちょっとした発信でも倫理観を理由に炎上したりします。倫理に基づく判断は大切ですが、そこに自己満足のための攻撃などが加わり、重箱の隅をつつくようになると、生きづらさを感じます。その反面、社会的に失うものが何もないために、倫理など無視して無鉄砲な事ができる人もいます。「無敵の人」と呼ぶそうです。

この話の主人公も失うものが何もない「無敵の人」です。ただし、前述の「無敵の人」とは異なり、そこには強い信念と覚悟、優しさがあります。だから素敵です。

この時代小説の主人公は戦国時代に実在した人物で、筆者の調査と解釈によるリアルな設定から、とてつもない創造の世界が繰り広げられていきます。主人公がずば抜けた判断力と武力で戦っていく描写が豪快で爽快です。

この本は『週刊少年ジャンプ』(集英社) に連載された漫画『花の慶次一雲のかたに』(原作/隆慶一郎 漫画/原哲夫 脚本/麻生未央) の原作で30年位前に出会いました。優柔不断の私は今も主人公に憧れています。生きづらさを感じている人もこの本を読んで気分転換されてはどうでしょうか。現代の「無敵の人」もこの主人公のような人を目指してほしいものです。

学食券売機が キャッシュレス決済に対応！

九段キャンパス1号館地下1階の学生食堂および13階展望レストラン「Café sora」、柏キャンパスの学生食堂に、一部キャッシュレス対応の券売機が導入されました。各種クレジットカードのタッチ決済や交通系ICなどの利用が可能となり、キャッシュレス決済で、より便利でスマートにご利用いただけるようになりました。



人事

2025年10月1日付

新任・大学職員等

- たはら けんいちろう 田原謙一郎 参与 (法人付部長兼内部監査室長)
- いしだ まさとし 石田 昌俊 参与 (附属高等学校事務室長)
- のほら だいすけ 野原 大佑 参事補 (企画・財務部企画・財務課係長)
- さとう ねね 佐藤 寧音 書記 (総務・人事部総務・人事課)

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

深井 信正氏 (名誉役員)

2025年2月15日逝去。

満85歳。1995年～20

11年まで学校法人二松学

舎評議員、監事、理事など

を務めた。

川久保 廣衛氏 (名誉教授)

2025年7月27日逝去。

満90歳。(1972年～20

05年在職) 文学部教授、

学務局長、学校法人二松学

舎評議員、理事を務めた。

斎藤 直蔵氏 (客員教授)

2025年5月17日逝去。

満96歳。

神立 春樹氏 (名誉舎友)

2025年2月9日逝去。

満90歳。